

## 教育発達学科 卒業研究テーマ一覧

■2016年度

- 若者にとっての楽器演奏 —軽音楽の楽器経験者の意識の分析をとおして—  
日本における「ギフテッド教育」の現状と課題 —個に応じた教育の実現を目指して—  
発達障害の中学生・高校生におけるインターネット依存について  
吃音当事者が感じる周りの人の言葉かけや態度について  
知的障がいがある子どもたちの夏休み —現状と保護者のニーズ—  
小学校通常学級担任教師の交流及び共同学習に対する意識に関する研究  
すべての子どもにとっての多文化教育のありかた  
ゴール型ボール運動におけるボールを持たないときの動きの検討 —動きの軌跡と視線の検討から—  
小学校体育授業における表現運動の教育的価値の検討 —小学校6年生を対象として—  
現代人の生活習慣病とこれからの生き方  
小学校における授業に読み聞かせを取り入れる方法とその有効性  
体育授業における教師の相互作用と児童の学習行動の関係について —若手教師と熟練教師の比較を通して—  
絵本における「仕掛け」の表現効果に関する研究 —仕掛け絵本の制作を通して— [作品]  
ワークショップ型授業の可能性  
算数科における記述表現力の向上に向けて  
小学校算数科におけるオープンアプローチを用いた指導の検討  
小学校教師の貧困観  
シューマン作曲「ウィーンの謝肉祭の道化」作品26の演奏と研究 [演奏]  
大学生のインサイドキックの研究 —経験者と未経験者の動作の違いの検討を通して—  
ボール運動における捕球能力の検討 —ボールの落下地点への移動に注目して—  
学校から職業への移行に関する日英比較研究 —高等学校以降を中心に—  
聴覚障害者と聴者の交流 —聾学校高等部生徒の実態から—  
初期の学習者への文学指導のあり方 —幼稚園・小学校第一学年の実践を中心に—  
日本の公立小学校における児童のムスリム理解への提言 —教科書の内容分析を踏まえて—  
シューマン=リスト作曲『献呈』の演奏と研究 [演奏]  
演劇における照明 —光が人に与える心理的効果— [作品]  
幼小連携の在り方について —幼稚園における教育・保育から考える—  
育った住環境と障害者に対する態度の関連について —多様性を受容する地域づくりを目指して—

## 教育発達学科 卒業研究テーマ一覧

■2016年度

- 児童の空間図形の認識に関する一考察 —見取図を「かく力」「よむ力」に焦点を当てて—  
佐野洋子『100万回生きたねこ』論 —生の一回性の意義—  
インクルーシブ教育の推進に関する現状と課題  
外国にルーツをもつ小学校高学年児童のアイデンティティ形成に関わる研究 —小学校教員の望ましい支援の提案—  
—  
交流及び共同学習の現状と課題 —教員への意識調査から—  
「森に住む小さな妖精」の作曲と演奏[演奏]  
小学校英語と中学校英語の接続 —港区の実践事例の検討から—  
新聞を学校教育に取り入れる利点 —情報化社会での新聞教育の重要性—  
小学校体育授業における学習従事量と満足度の関係  
ディズニーアニメーション『アナと雪の女王』論 —アナとエルサに見る、現代のプリンセス像—  
交流及び共同学習の意義について —障害のある子との交流の有無による受容的態度の比較から—  
問題解決学習における子どもの主体性の育成 —子どもが主体的に学習問題を把握するために—  
小学校不登校経験者の不登校特例校卒業後の追跡調査 —大学在学者を対象に—  
日本における「ゆとり教育」の再考察  
小学校の音楽科教育における鑑賞教育 —鑑賞に対する興味関心の実態調査をとおして—  
ラフマニノフ作曲「楽興の時第3番作品16-3」の演奏と研究[演奏]  
高坂正顕の「愛国心」教育の現代的意義 —「期待される人間像」から「特別の教科 道徳」へ—  
体育授業のユニバーサル・デザインについて —その方向性を探る—  
運動動作と運動有能感の関係の検討 —大学2年生(女子)を対象として—